

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成24年6月7日(2012.6.7)

【公開番号】特開2010-261812(P2010-261812A)

【公開日】平成22年11月18日(2010.11.18)

【年通号数】公開・登録公報2010-046

【出願番号】特願2009-112825(P2009-112825)

【国際特許分類】

G 01 N 35/04 (2006.01)

G 01 N 35/02 (2006.01)

【F I】

G 01 N 35/04 H

G 01 N 35/02 G

【手続補正書】

【提出日】平成24年4月17日(2012.4.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

検体を処理する第1及び第2処理ユニットと、

検体を収容する複数の検体容器を保持する検体ラックに保持された検体容器に対して所定の検知処理を実行する、前記第1及び第2処理ユニットに共通の検知部と、

前記第1処理ユニットに検体が供給される第1位置から前記第2処理ユニットに検体が供給される第2位置へ向かう第1方向及び前記第2位置から前記第1位置へ向かう第2方向へ検体ラックを搬送可能な搬送ユニットと、

前記検体ラックに保持され、前記検知部によって前記検知処理が実行された複数の検体容器のうちの一の検体容器を前記第1位置へ搬送し、他の一の検体容器を前記第2位置へ搬送するように前記搬送ユニットを制御する搬送制御手段と、

を備える、検体処理装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上述した課題を解決するために、本発明の一の態様の検体処理装置は、検体を処理する第1及び第2処理ユニットと、検体を収容する複数の検体容器を保持する検体ラックに保持された検体容器に対して所定の検知処理を実行する、前記第1及び第2処理ユニットに共通の検知部と、前記第1処理ユニットに検体が供給される第1位置から前記第2処理ユニットに検体が供給される第2位置へ向かう第1方向及び前記第2位置から前記第1位置へ向かう第2方向へ検体ラックを搬送可能な搬送ユニットと、前記検体ラックに保持され、前記検知部によって前記検知処理が実行された複数の検体容器のうちの一の検体容器を前記第1位置へ搬送し、他の一の検体容器を前記第2位置へ搬送するように前記搬送ユニットを制御する搬送制御手段と、を備える。